



隊友ロゴマーク

支部だより

4月号

第144号 2017. 4. 1

香川県隊友会丸亀支部

〒763-0071 田村町 699-17 Tel 0877-22-8981

支部長 大西邦彦

090-1007-9199



桜の花とメジロ

3月の活動報告

- 1. 地域ボランティアへの参加**
15日 10:00～11:00の間、丸亀護国神社の招魂祭を支援しました。宮田治彦禰宜様祭司のもと、世話役として宮本様、支部からは、赤松、妻鳥、小松、丁野、才谷、高島、武田、山下、大西（支部長）の会員9名のご奉仕を頂きました。
- 2. 支部会議等**
 - 支部だより3月号配布
4日（土）09:00～香川県護国神社参集殿において、高島、小松、武田、西岡（弘）、石原、武田、大西（支部長）の7名が配分作業を実施。
- 3. 支部行事等**
 - #4 囲碁大会
16日（木）香川県護国神社客殿の間において、支部会員7名が参加。赤松義弘会員が優勝
- 4. 県等行事**
 - 平成28年度入隊・入校激励会
11日（土）14:00から高松テルサで開催
支部長出席（入隊予定者97名）
 - 香川県自衛隊殉職者合同慰霊祭
19日（日）香川県護国神社において会場準備作業を実施。
支部長、武田、西岡（弘）、山下、石原、池本会員が支援
20日（月）11:00から香川県護国神社において合同慰霊祭を開催
支部長、高島、武田、西岡（弘）、横山、福岡、松永会員が支援。
 - 防災資材点検
日時：26日（日）10:00から丸亀市水防センター（垂水町）において直江事務局長、西岡、武田、大西の4名が実施

4月以降の予定

- 1. 地域ボランティアへのお誘い**
丸亀護国神社にて、毎月15日 10:00から月例招魂祭が行われます。09:00から清掃奉仕、祭祀準備を実施しています。会員皆様のご参加、ご協力、宜しくお願いします。
- 2. 支部等会議**
 - 支部だより4月号配布等
日時：1日（土）09:00～（支部だより）
日時：1日（土）10:30～（下半期役員会）
場所：善通寺護国神社参集殿
 - 支部だより5月号配布等
4月30日（日）09:00～
- 3. 県等事業**
 - 第14旅団創隊記念日
日時：4月23日（日）10:00～
（駐屯地開放 09:00～15:00）
場所：善通寺駐屯地及び市内
観閲式
空挺降下
訓練展示（模擬戦闘）
市中パレード
戦車体験搭乗
装備品展示等（MCV等）



会員の訃報について（連絡）

死亡会員：西 謙一 会員（三条町）

死亡日：3月12日

3月15日支部長以下4名が弔問心よりご冥福をお祈りいたします。

掲示板

- 平成29年度丸亀支部定期総会・懇親会の予定
総会期日・場所
5月28日（日）17時
イア場所... オークラホテル丸亀（富士見町3-3-50）
ウ送迎... マイクロバスを運行、細部、別示
- 定期総会・懇親会会場
② 定期総会・懇親会会場
イア懇親会... 212F ライラックの間
鳳凰中の間
- ③ 会費
④ 連絡先
丸亀支部事務局 高島
（090）2789 4457
- 二. ダブルダイヤモンド讃岐富士の撮影好機到来
4月14日（土）20日の間、良く晴れて風の無い穏やかな朝に見られます。自然が織りなす年々2回の奇跡。是非一度、見てみては如何でしょうか。興味のある方は、広報荒谷までご連絡下さい。
- 三. 支部だより投稿のお願い
会員の近況紹介等の投稿をお待ちしています。

囲碁大会優勝は赤松義弘会員でした



殉職者合同慰霊祭



3月15日には招魂祭を19日と20日には自衛隊殉職者合同慰霊祭を支援。

会員のひろば (近況紹介)

記事投稿は、支部長又は荒谷直政(メール stngxyf8323@mc.pikara.ne.jp)までお願いします。

隊友会新規入会の挨拶 (自己紹介)

日本を建設する工業!

柴田進 会員 山北町



自衛隊を定年退官、いざ人生の第二ステージへ。

後半生の伴侶として隊友や偕行へ入会、再就職として「日本建設工業」に入社しました。

そのネーミングは、平凡ながらも建設的で、心意気がこもります。

本社が東京にある全国規模の企業で、北海道から九州まで各地の発電設備に関わっています。

業種区分は建設業で、電力会社はもちろん、自家発電

の事業所の発電機械やプラントを維持・補修する工事が主ですが、設計から新築まで幅広く手がけています。

隊友の諸先輩方は、どのような職業に就かれていますでしょうか。

私も、第二次産業に足を踏み入れるとは想像できませんでしたが、これも運、というより縁でしょうか。

香川県中部には、空高いシンボルのようなオブジェが散在します。

善通寺市には五重塔、丸亀市には丸亀城、宇多津町にはゴールドタワー。

坂出市には本州の岡山へとつながる瀬戸大橋、その隣で目を引く高い煙突の根元めがけて、出勤します。

坂出市番の州は、川崎重工や三菱化学はじめ工業団地となっており、多数の就業者を擁しています。

その入り口は、朝の通勤時にラッシュとなるほど賑わいます。

そして辿りついた四国電力の火力発電所に、私の職場があります。

守衛所でも多くの元自衛官が勤めており、現役さながらの見事な敬礼で迎えてくれる人もいます。

発電所の構内では、複数の企業が活動しています。この誰とでも、「ご安全に」という共通の挨拶で、高圧の交流につながります。

仕事は、本社からの指揮系統によるものだけではありません。

業務系統の相手は、四国電力などの顧客(客先)、元請、そして下請といわず協力会社です。

「安全と水はタダではない」といいますが、電気もタダではありません。電力の安定供給のために、多くの事業体が、日夜力を合わせながら涙ぐましい奮闘努力をしています。

私たちの使う電力は、多くの人が流した汗の結晶です。電線を通じて送られているのは、電気だけでなく愛情もこめられているのに違いありません。

わが社が全国各地に展開していることを思えば、電力を介して日本人の営みに関わっている気がします。

「朝は希望に目覚め、昼は歓喜に働き、夜は感謝に眠る」

「昨日と同じ今日を、今日と同じように明日を迎える」、そんな気なくとも大切な国民生活を、これまでと違う形ながら、天には、もくもくと元気な白煙が、高い煙突から舞い昇ります。引き続き守り分かち合っていきたいと願います。煙突から天へとたなびく煙は、「民のかまど」を思い起こさせます

地には、日々の暮らしを支える槌音が、花のように咲き競います。

見かけたら、声をかけて下さい。「ご安全に！」

地域と共に、防災士へ

高島達之 事務局長 郡家町

阪神・淡路大震災発生から22年、東日本大震災から6年が過ぎたが、あの時の巨大地震・津波による壊滅的被害の状況が、つい先日の事に思われる。多くの人々が死亡し、建物等の倒壊一流出、交通機関の途絶、ライフラインの被害等により、日常生活が一変した。東北地方においては、未だに10万人以上の方々が避難生活をしている現況である。地震発生当時に見たテレビ放映、新聞等の報道を、今一度思い出してみよう。

今後30年以内で70%程度の確率で、東南海沖大地震が発生すると予測されている。間近に迫っている大地震にどのように対処したらよいのだろうか? 皆さんは心の準備は?

今まだやれる事があると考え、自分を守り、家族を守り、地域住民を守り、そして行政機関に協力する事への思いを持って、昨年10月8日から「防災士養成講座」を香川大学工学部において受講し、2月18日で受講を終了した。地震津波等災害の基礎、危機管理、避難行動、防災対策、行政の災害対応、地域の防災活動等の基礎的知識を習得した。講習終了日に、日本防災士機構の防災士資格取得試験を受験し、「合格」した。合わせて1月28日に丸亀市消防本部で普通救命講習を受講し「普通救命講習修了証」の認定を受けた。

現在、日本防災士機構に「防災士認証登録」と「防災士証」の交付を申請中である。

短期間に受講した内容は基礎的な事項であり、あらゆる災害に立ち向かう知識と実行動はこれからであるが、人命を失わない防災対策はどうあるべきかを常に考え行動していきたい。

郡家コミュニティセンターや隊友会と連携をとり、私にできる事をやりたい。

隊友会会員の方々により多く防災士となり、自助・共助で活躍出来るように協力したい。防災士受講を希望される方は、連絡して下さい。



陶芸教室成果について
今回、支部行事として宮松敏様の大なる御協力により陶芸教室を開催することができた事に心よりお礼申しあげます。
また本教室において陶芸を学んだ支部会員がオンラインワンの作品を完成させ満足感を得ると共に、喜びを享受することが出来たこと、さらに陶芸というものに興味・関心を寄せながら、作りに没頭する仲間においで、頭や手、心、意の繋がりを高めてもらいたいと思っております。

(支部長)